

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

企業自体も変化させ続けないと持続しない 岡田 卓也 (イオン名誉会長相談役)

1. 「大黒柱に車をつけよ」という家訓が岡田屋にはある。環境の変化に対応して、企業自体を変革させよ、という意味だ。岡田屋は、呉服屋に始まり、戦後、食品を扱うスーパーマーケットになった。その後、GMS (総合スーパー)、専門店、SC (ショッピングセンター)、クレジットカードなど多様な分野に事業を広げて、今のイオングループに至る。グループの収益を支える事業の柱は、時代と共に大きく変わってきた。環境の変化がそれだけ大きいからだ。
2. 「大黒柱に車をつけよ」という家訓を象徴する出来事が戦後すぐにあった。三重県四日市市の焼け野原で、店舗を再開した場所は、戦前は中心街で人通りが多かった。しかし、戦後は疎開から戻ってきた人が下車する四日市駅と、手続きのために訪れる市役所を結ぶ通りが栄え、人の流れが変わった。
3. そこで店舗の移転を決めた。「ご先祖様が大事にしてきた土地を手放すとは何事か」と強く反対されたが、人の流れに対応できたことで、新店舗は繁盛。立地だけでなく、企業自体も変化させ続けないと持続しない。小売業に限らず、電機や銀行などあらゆる産業が激しい変化の波にさらされている。現在この波を的確に捉えた新たな産業が次々と誕生している。失敗を恐れることなく、新しい挑戦を続けなければ、次の成長はない。

(参考:「日経ビジネス」2019年5月6日号)

心・健康・環境について

健康リスクの可能性 (コンビニ)

1. 米ノースウェスタン大学医学部の研究者らは、1984年から続く生活習慣や住環境と心血管疾患との関係を調査。自宅から3km以内の食料品店、飲食店に占めるコンビニおよびファーストフード店の比率の変化との関連を解析した。その結果、地域のコンビニ比率が10%上昇すると、突然死や心筋梗塞の原因となるアテローム性動脈硬化症リスクが34%増加することが示された。
2. その一方で、何かと不健康食扱いされるファーストフード店比率が上昇しても、アテローム性動脈硬化症との関連は認められなかった。研究者は「コンビニでは不健康な食品だけでなく、たばこやアルコール飲料が購入できることも一因だろう」としている。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2019年4月20日号)

経営者のための理念・哲学

自分の心を見つめる

横田 南嶺 (臨済宗円覚寺派管長)

1. 看脚下という言葉はよくお寺の玄関に掲げてあって、履物を揃えなさいという戒めとして受け取られている方も多いと思います。けれども本当は履物の話だけではなく、自分の心を見つめようという禅の一番の根本を説いている言葉です。
2. お釈迦様は、各人が自らを灯りとし、自らを^よ振り所とせよとおっしゃっています。田んぼに雑草が生えるように、我われの心には貪りや怒りなどの愚かさがあると。だから田んぼの雑草を抜くように、それを取り除かなければならないのだと。心というのは煩惱を含んで感情的に波立っているけれども、その本質は、佛教の言葉で言えば天の心、天命に通じているのだと説いています。

(参考:「致知」2019年6月号)

古典に学ぶ

お金は所有者の人格による

(解説) 金は実に威力のあるものなれども、しかしながら金はもとより無心である。善用されると、悪用されるとは、その使用者の心にあるから、金は持つべきものであるか、持つべからざるものであるかは、断定することはできない。善人が持てば善くなり、悪人が持てば悪くなる。つまり所有者の人格いかんによるものである。

(参考: 渋沢栄一「論議と算盤」: 国書刊行会)